

I 調査概要

1 調査目的

県民の、在宅療養及び、人生の最終段階における医療に関する県民意識を把握し、在宅療養に関する施策を推進する上での参考とする。

2 調査項目

- ・ 在宅療養についての御意見
- ・ 人生の最終段階における医療についての御対応や御意見
- ・ あなた御自身やあなたの身近で大切な人が回復の難しい状態になった場合の、医療に関する御希望
 - ① 末期がんであるが、食事もよくとれ、痛みもなく、意識や判断力は健康な時と同様の場合
 - ② 末期がんで、食事や呼吸が不自由であるが、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様の場合
 - ③ 重度の心臓病で、身の回りの手助けが必要であるが、意識や判断力は健康な時と同様の場合
 - ④ 認知症が進行し、身の回りの手助けが必要で、かなり衰弱が進んできた場合
 - ⑤ 交通事故により半年以上意識がなく、管から栄養をとっている状態で、衰弱が進んでいる場合
 - ⑥ 交通事故により心肺停止となったのち蘇生したものの、2週間が経過した時点で意識はなく、人工呼吸器と点滴を受けている場合
- ・ あなた御自身のことについて

3 調査方法

- | | |
|----------|----------------------------------|
| (1) 調査地域 | 岡山県全域 |
| (2) 調査対象 | 県内全市町村から無作為に抽出した満20歳以上の男女 2,500人 |
| (3) 調査方法 | 郵送配布・郵送回収 |
| (4) 実施時期 | 平成27年2月6日(金)～平成27年2月13日(金) |

4 回収結果

有効回収数(率) 1,402人 (56.1%)

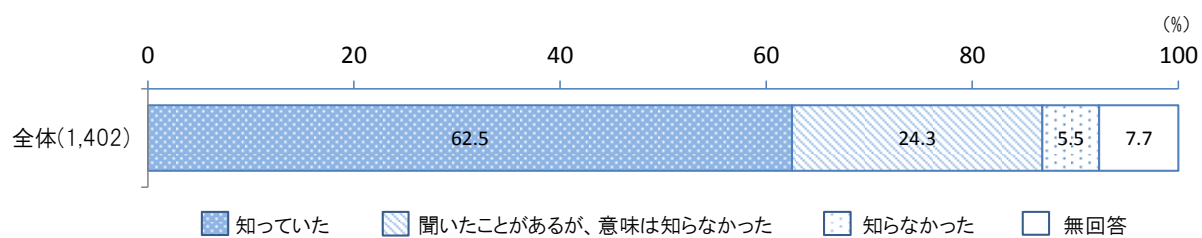
5 報告書をみる際の注意点

- (1) 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比(%)で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- (2) 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- (3) 他の設問とのクロス集計では、他の設問で無回答があるため、総数が同数にならない場合がある。
- (4) 報告書中の図表では、表記の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。
- (5) 報告書中の図表について、複数回答の設問については、その設問に回答する資格を有する者の数を「全体n=()」で示している。
- (6) 「人生の最終段階における医療に関する意識調査(終末期医療に関する意識調査等検討会、平成26年3月)」との結果比較を行う項目は、「全国調査【平成26.3】」と表記している。

Ⅱ 調査結果

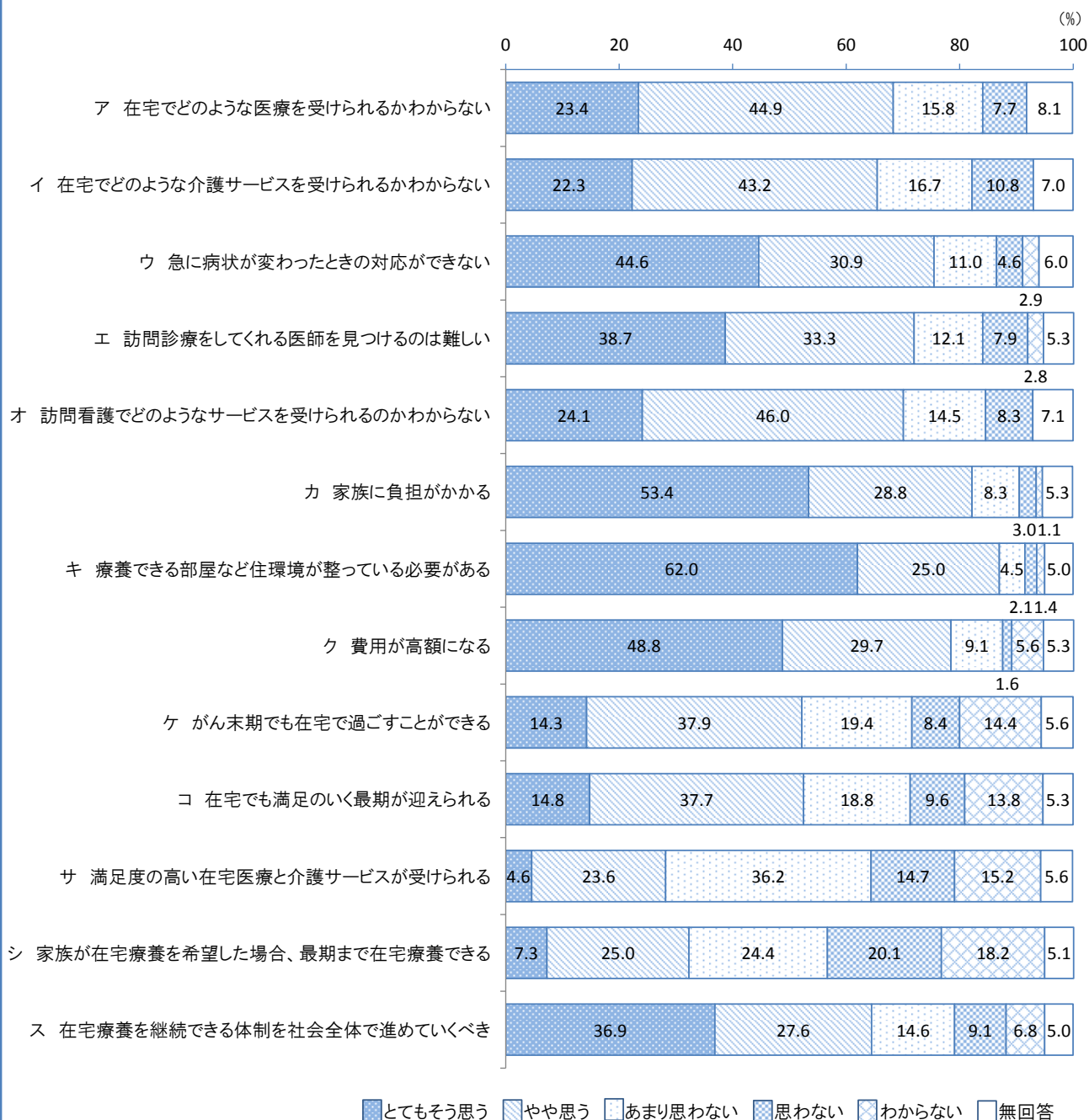
問1 あなたは、「在宅医療」という言葉とその意味を知っていましたか。(〇は1つ)

「在宅医療」という言葉とその意味を知っていたかについて、「知っていた」と回答した割合が62.5%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、意味は知らなかった」(24.3%)、「知らなかった」(5.5%)となっている。



問2 あなたは、在宅療養(在宅医療と介護サービス等を受けること)についてどのようなイメージをお持ちですか。下記のア～スそれぞれに該当する数字を1つずつ選んでください。(○はそれぞれ1つ)

在宅療養についてのイメージのまとめ (n=1,402)

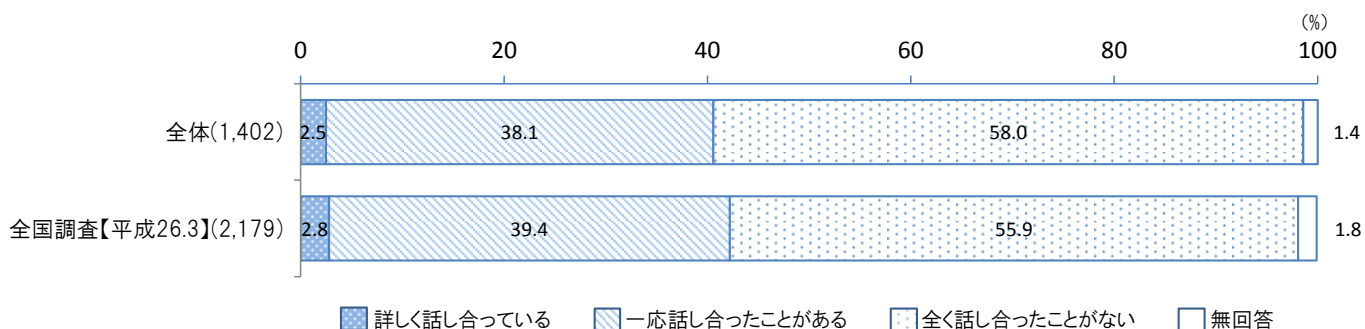


※(ア)、(イ)、(オ)は選択肢5 わからない は無し

問3 あなたは、御自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、御家族とどのくらい話し合ったことがありますか。(〇は1つ)

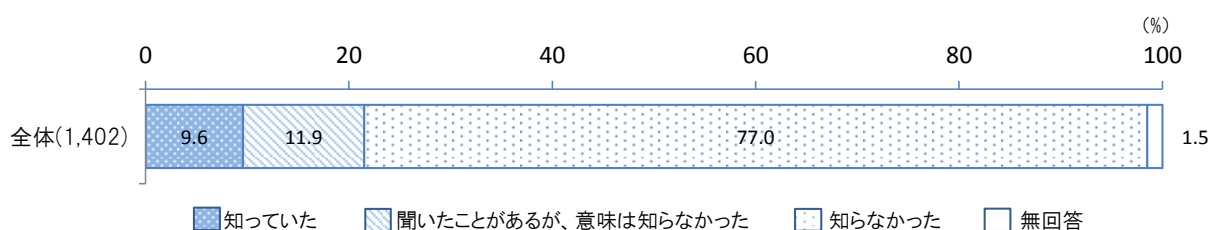
御自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、御家族とどのくらい話し合ったことがあるかについて、「全く話し合ったことがない」と回答した割合が58.0%と最も高く、次いで「一応話し合ったことがある」(38.1%)、「詳しく話し合っている」(2.5%)となっている。

全国調査と比較すると、「全く話し合ったことがない」と回答した割合が、2.1ポイント高くなっている。



問4 あなたは、「リビングウィル」という言葉とその意味を知っていましたか。(〇は1つ)

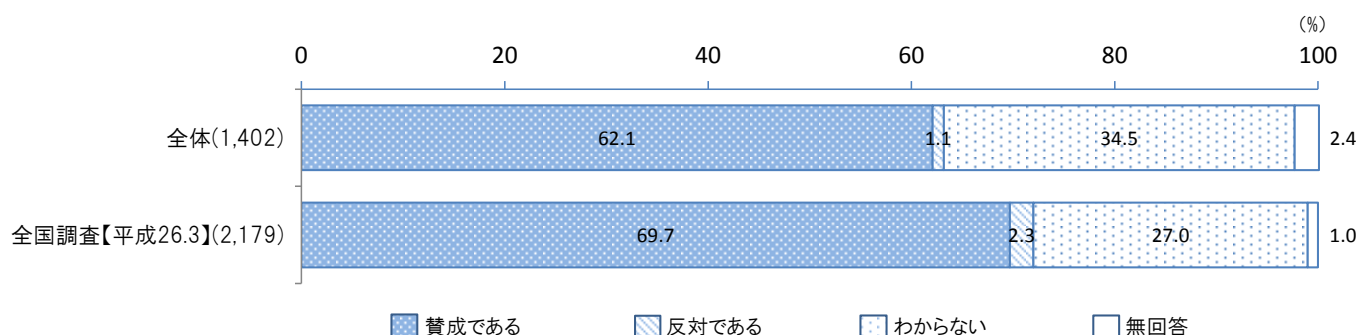
「リビングウィル」という言葉とその意味を知っていたかについて、「知らなかった」と回答した割合が77.0%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、意味は知らなかった」(11.9%)、「知っていた」(9.6%)となっている。



問5 あなたは、自分で判断ができなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面(リビングウィル/事前指示書)をあらかじめ作成しておくことについてどう思いますか。(〇は1つ)

自分で判断ができなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面(リビングウィル/事前指示書)をあらかじめ作成しておくことについて、「賛成である」と回答した割合が62.1%と最も高く、次いで「わからない」(34.5%)、「反対である」(1.1%)となっている。

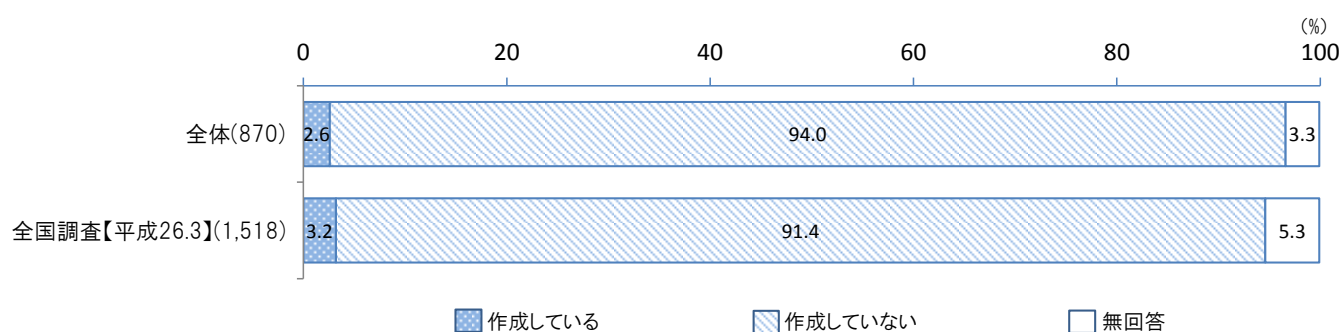
全国調査と比較すると、「賛成である」と回答した割合が、7.6ポイント低くなっている。



問5-1 実際に書面を作成していますか。(〇は1つ)

実際に書面を作成しているかについて、「作成していない」と回答した割合が94.0%と高くなっている。

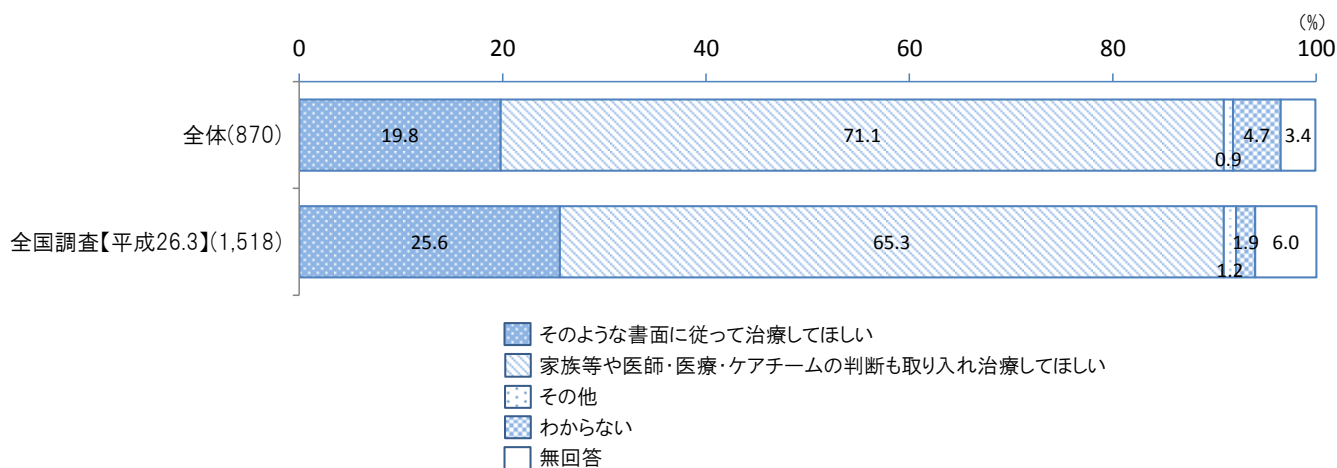
全国調査と比較すると、「作成していない」と回答した割合が、2.6ポイント高くなっている。



問5-2 あなたは、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面について、どのように扱われるのがよいと思いますか。(〇は1つ)

自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面について、どのように扱われるのがよいと思うかについて、「家族等や医師又は医療・ケアチームの判断も取り入れながら、治療してほしい」と回答した割合が71.1%と最も高く、次いで「そのような書面に従って治療してほしい」(19.8%)、「わからない」(4.7%)となっている。

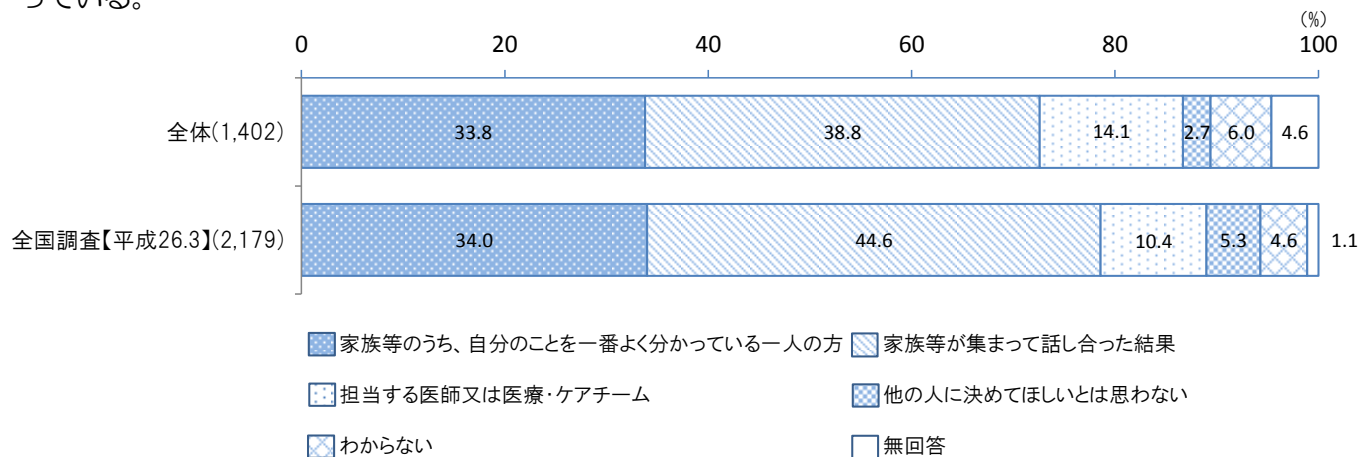
全国調査と比較すると、「家族等や医師又は医療・ケアチームの判断も取り入れながら、治療してほしい」と回答した割合が、5.8ポイント高くなっている。



問6 あなたは、治療の選択について自分で判断できなくなった場合には、誰に、治療方針を決めてもらいたいですか。(〇は1つ)

治療の選択について自分で判断できなくなった場合には、誰に、治療方針を決めてもらいたいかについて、「家族等が集まって話し合った結果」と回答した割合が38.8%と最も高く、次いで「家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている一人の方」(33.8%)、「担当する医師又は医療・ケアチーム」(14.1%)となっている。

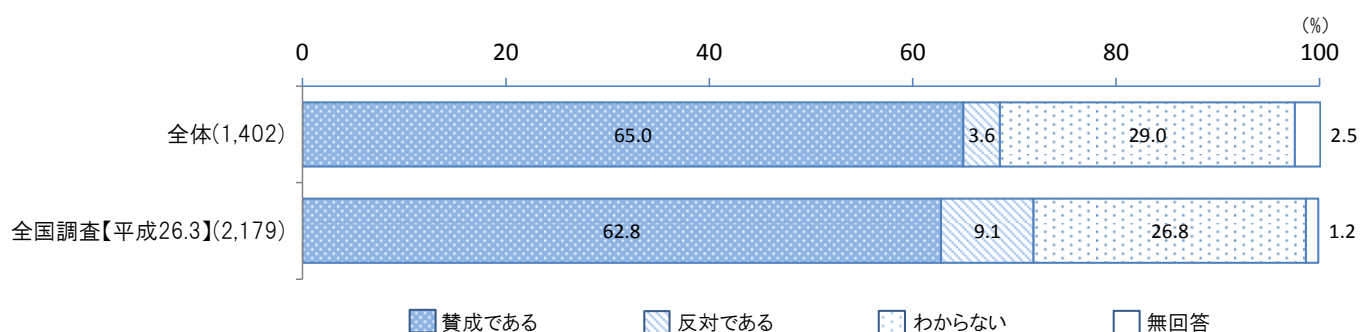
全国調査と比較すると、「家族等が集まって話し合った結果」と回答した割合が、5.8ポイント低くなっている。



問7 あなたは、どのような治療を受けたいかあるいは受けたくないか自分で判断できなくなった場合に備えて、家族等の中から、あなたに代わって判断してもらう人をあらかじめ決めておくことについてどのように思いますか。(〇は1つ)

どのような治療を受けたいかあるいは受けたくないか自分で判断できなくなった場合に備えて、家族等の中から、あなたに代わって判断してもらう人をあらかじめ決めておくことについてどのように思うかに対して、「賛成である」と回答した割合が65.0%と最も高く、次いで「わからない」(29.0%)、「反対である」(3.6%)となっている。

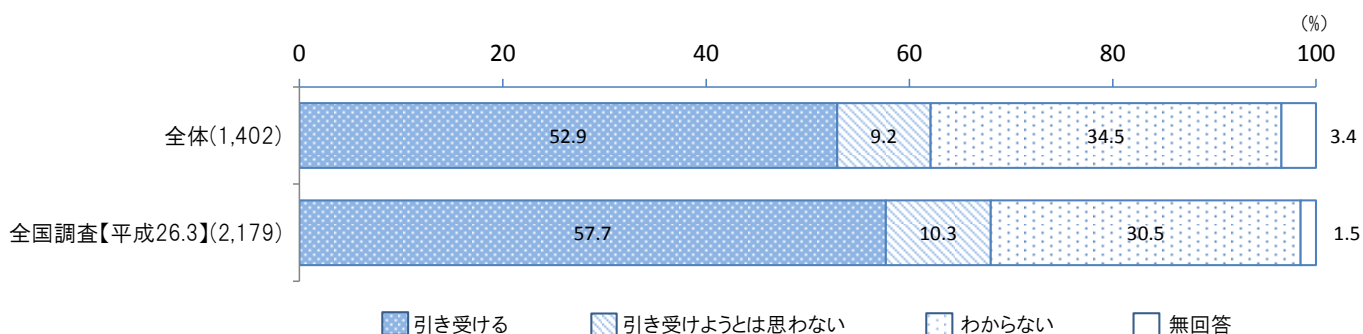
全国調査と比較すると、「反対である」と回答した割合が、5.5ポイント高くなっている。



問8 前の問7とは逆に、家族から、治療の選択について代わって判断してもらいたいとあらかじめ頼まれた場合、引き受けますか。(〇は1つ)

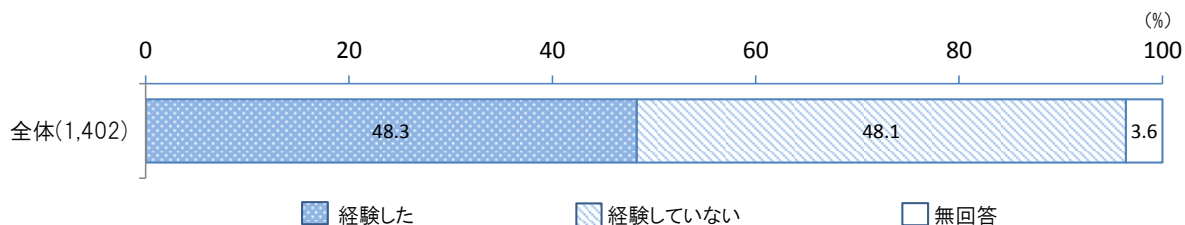
家族から、治療の選択について代わって判断してもらいたいとあらかじめ頼まれた場合、引き受けるかについて、「引き受ける」と回答した割合が52.9%と最も高く、次いで「わからない」(34.5%)、「引き受けようとは思わない」(9.2%)となっている。

全国調査と比較すると、「引き受ける」と回答した割合が、4.8ポイント低くなっている。



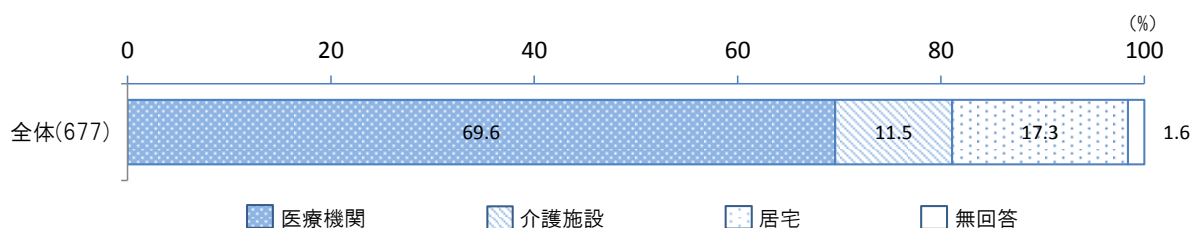
問9 あなたは、身近で大切な人の死を最近5年間に経験しましたか。(〇は1つ)

身近で大切な人の死を最近5年間に経験したかについて、「経験した」と回答した割合が48.3%と高くなっている。



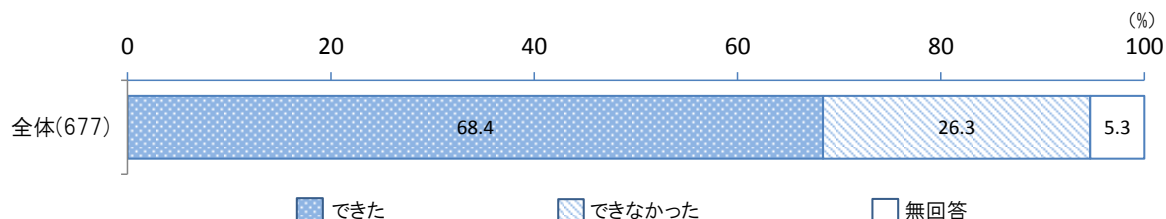
問9-1 その大切な人が最期を迎えられた場所はどこでしたか。(〇は1つ)

大切な人が最期を迎えられた場所はどこかについて、「医療機関」と回答した割合が69.6%と最も高く、次いで「居宅」(17.3%)、「介護施設」(11.5%)となっている。



問9-2 その大切な人を満足してお送りすることができましたか。(〇は1つ)

大切な人を満足してお送りすることができたかについて、「できた」と回答した割合が68.4%と高くなっている。



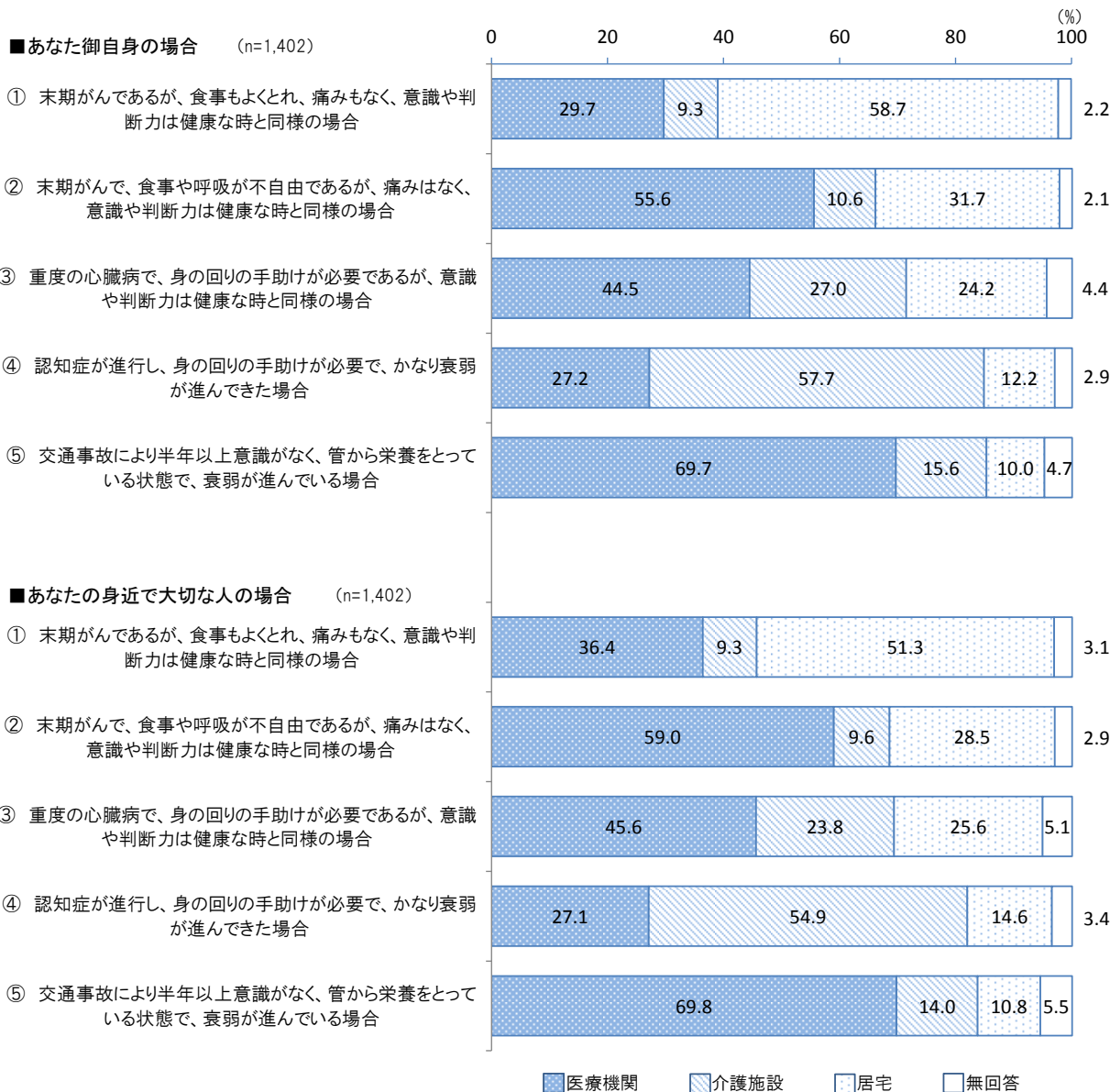
あなた御自身やあなたの身近で大切な人が回復の難しい状態になった場合の、医療に関する御希望を伺います。いくつかの異なる状態を示しますので、あなた御自身の場合と、あなたの身近で大切な人の場合のそれぞれについてお答えください。

—今回調査で例示した、人生の最終段階の状況—

- ① 末期がんであるが、食事もよくとれ、痛みもなく、意識や判断力は健康な時と同様の場合(問 10)
- ② 末期がんで、食事や呼吸が不自由であるが、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様の場合(問 11)
- ③ 重度の心臓病で、身の回りの手助けが必要であるが、意識や判断力は健康な時と同様の場合(問 12)
- ④ 認知症が進行し、身の回りの手助けが必要で、かなり衰弱が進んできた場合(問 13)
- ⑤ 交通事故により半年以上意識がなく、管から栄養をとっている状態で、衰弱が進んでいる場合(問 14)
- ⑥ 交通事故により心肺停止となったのち蘇生したものの、2週間が経過した時点で意識はなく、人工呼吸器と点滴を受けている場合(問 15) ※⑥では設問していない為項は無し。

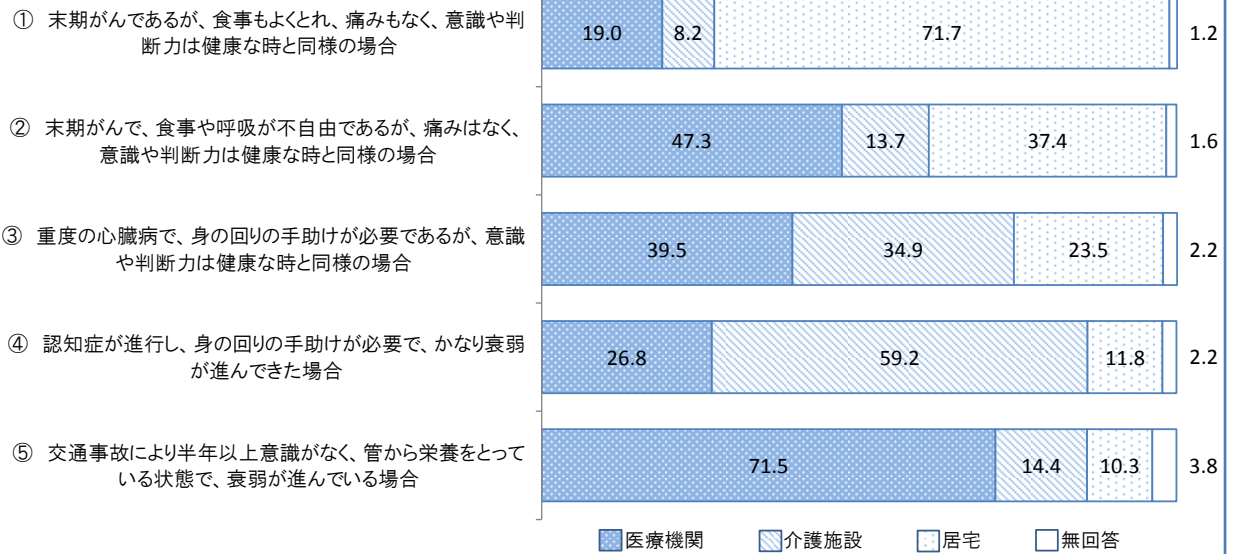
※平成 26 年 3 月 全国調査では、あなた御自身の場合のみの調査となっています。

人生の最終段階を過ごしたい場所についてのまとめ



人生の最終段階を過ごしたい場所についてのまとめ

■全国調査【平成 26.3】【御自身の場合】 (n=2,179)



①末期がんであるが、食事もよくとれ、痛みもなく、意識や判断力は健康な時と同様の場合

《もし、あなた御自身やあなたの身近で大切な人が以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。》

—あなた又はあなたの身近で大切な人の病状—

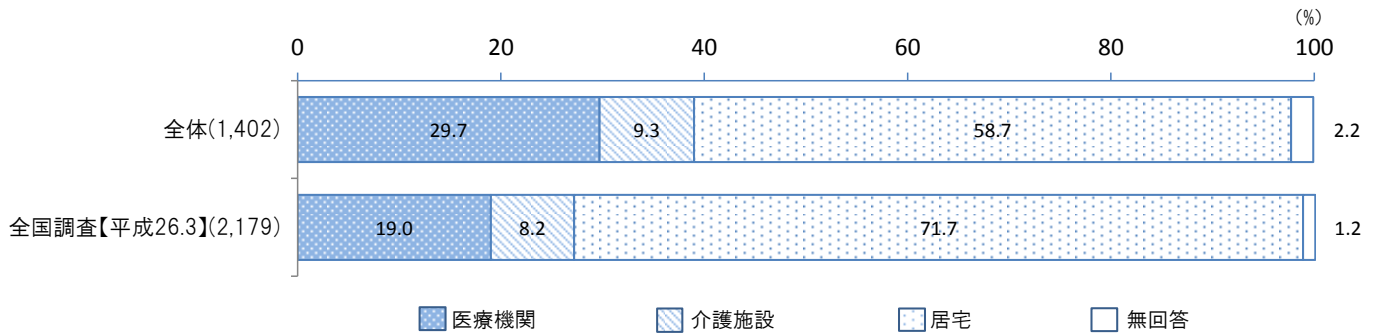
末期がんと診断されましたが、少し疲れやすいものの、食事もよくとれ、痛みもなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

—医療上の判断—

「回復の見込みはなく、徐々に死に至る。」とのことです。

問10-1 (i)あなた御自身の場合、どこで過ごしながらか医療を受けたいですか。(○は1つ)

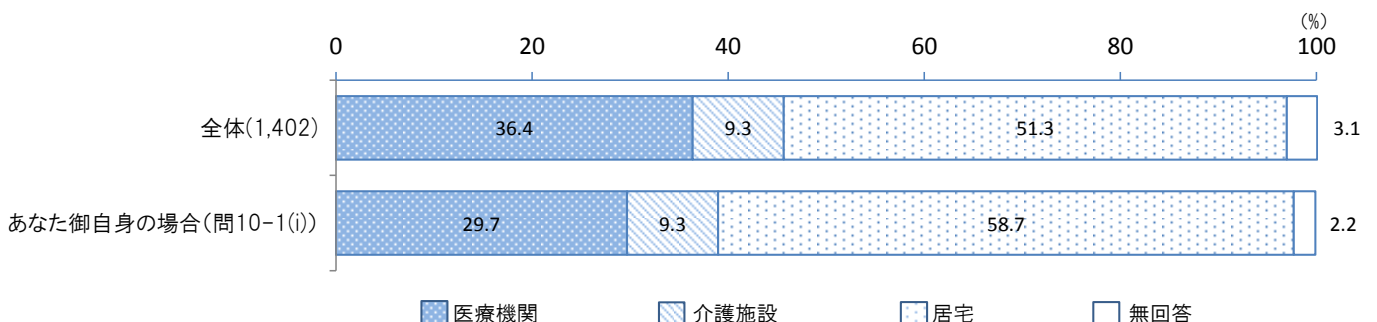
あなた御自身の場合、どこで過ごしながらか医療を受けたいかについて、「居宅」と回答した割合が58.7%と最も高く、次いで「医療機関」(29.7%)、「介護施設」(9.3%)となっている。
 全国調査と比較すると、「居宅」と回答した割合が、13.0ポイント低くなっている。



問10-1 (ii)あなたの身近で大切な人の場合、どこで過ごしながらか医療を受けてもらいたいですか。(○は1つ)

身近で大切な人の場合、どこで過ごしながらか医療を受けてもらいたいかについて、「居宅」と回答した割合が51.3%と最も高く、次いで「医療機関」(36.4%)、「介護施設」(9.3%)となっている。

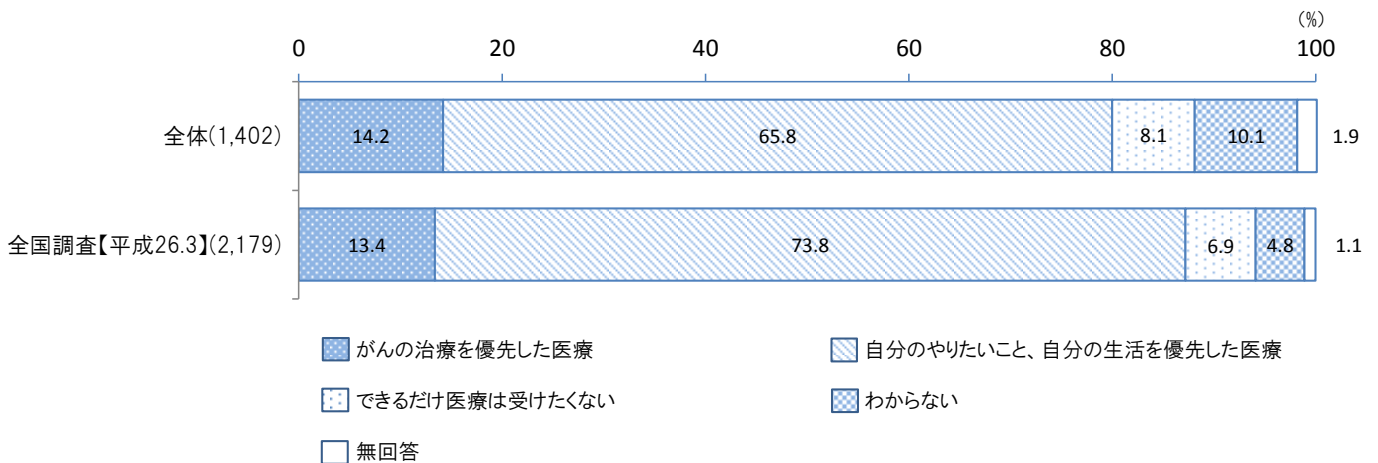
前問の「あなた御自身の場合」と比較すると、「居宅」と回答した割合が7.4ポイント低くなり、「医療機関」と回答した割合が6.7ポイント高くなっている。



問10-2 (i)あなた御自身の場合、これから、どのような方針での医療を希望しますか。
 (どの方針であっても、できるだけ痛みや呼吸の苦しさなどの不快な症状を和らげる医療は行います。)(〇は1つ)

あなた御自身の場合、これから、どのような方針での医療を希望するかについて、「自分のやりたいこと、自分の生活を優先した医療」と回答した割合が65.8%と最も高く、次いで「がんの治療を優先した医療」(14.2%)、「わからない」(10.1%)となっている。

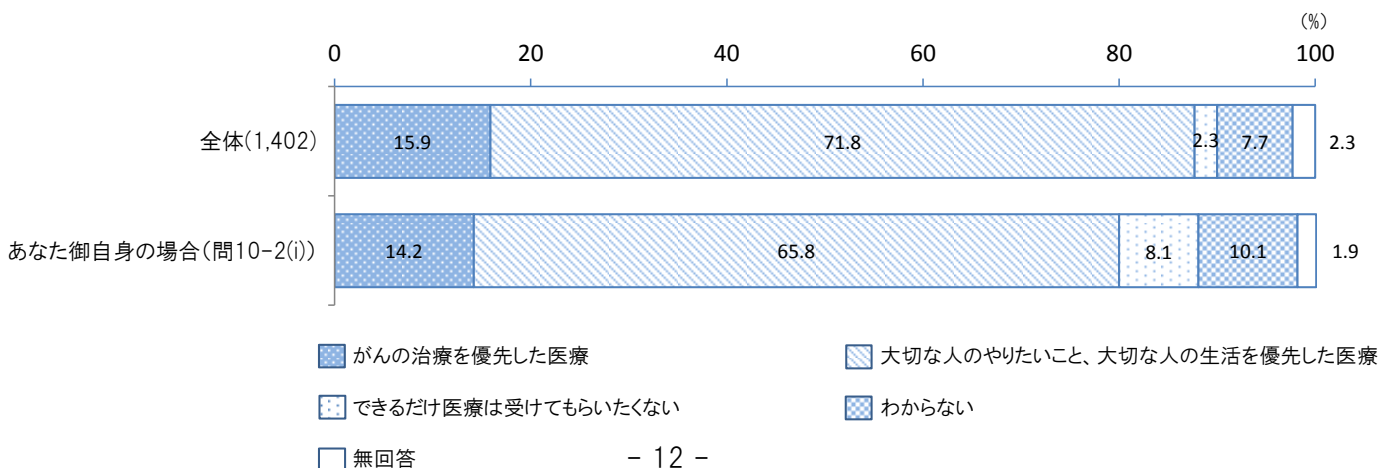
全国調査と比較すると、「自分のやりたいこと、自分の生活を優先した医療」と回答した割合が、8.0ポイント低くなっている。



問10-2 (ii)あなたの身近で大切な人の場合、これから、どのような方針での医療を希望しますか。
 (どの方針であっても、できるだけ痛みや呼吸の苦しさなどの不快な症状を和らげる医療は行います。)(〇は1つ)

身近で大切な人の場合、これから、どのような方針での医療を希望するかについて、「大切な人のやりたいこと、大切な人の生活を優先した医療」と回答した割合が71.8%と最も高く、次いで「がんの治療を優先した医療」(15.9%)、「わからない」(7.7%)となっている。

前問の「あなた御自身の場合」と比較すると、「できるだけ医療は受けてもらいたくない」と回答した割合が5.8ポイント低くなり、「大切な人のやりたいこと、大切な人の生活を優先した医療」と回答した割合が6.0ポイント高くなっている。



②末期がんで、食事や呼吸が不自由であるが、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様の場合
《もし、あなた御自身やあなたの身近で大切な人が以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。》

—あなた又はあなたの身近で大切な人の病状—

末期がんと診断され、状態は悪化し、今は食事がとりにくく、呼吸が苦しい状態です。しかし、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

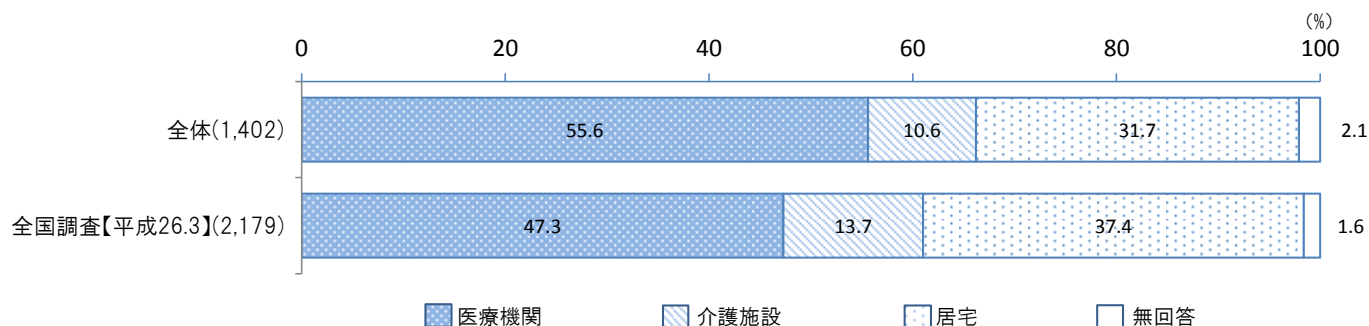
—医療上の判断—

「回復の見込みはなく、徐々にあるいは急に死に至る。」とのことです。

問11-1 (i)あなた御自身の場合、どこで過ごしながらか医療を受けたいですか。(〇は1つ)

あなた御自身の場合、どこで過ごしながらか医療を受けたいかについて、「医療機関」と回答した割合が55.6%と最も高く、次いで「居宅」(31.7%)、「介護施設」(10.6%)となっている。

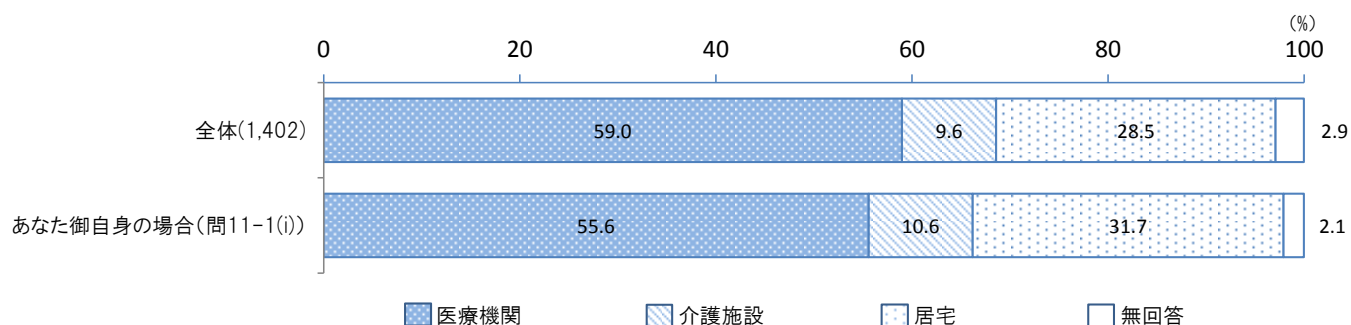
全国調査と比較すると、「医療機関」と回答した割合が8.3ポイント高くなっている。



問11-1 (ii)あなたの身近で大切な人の場合、どこで過ごしながらか医療を受けてもらいたいですか。(〇は1つ)

身近で大切な人の場合、どこで過ごしながらか医療を受けてもらいたいかについて、「医療機関」と回答した割合が59.0%と最も高く、次いで「居宅」(28.5%)、「介護施設」(9.6%)となっている。

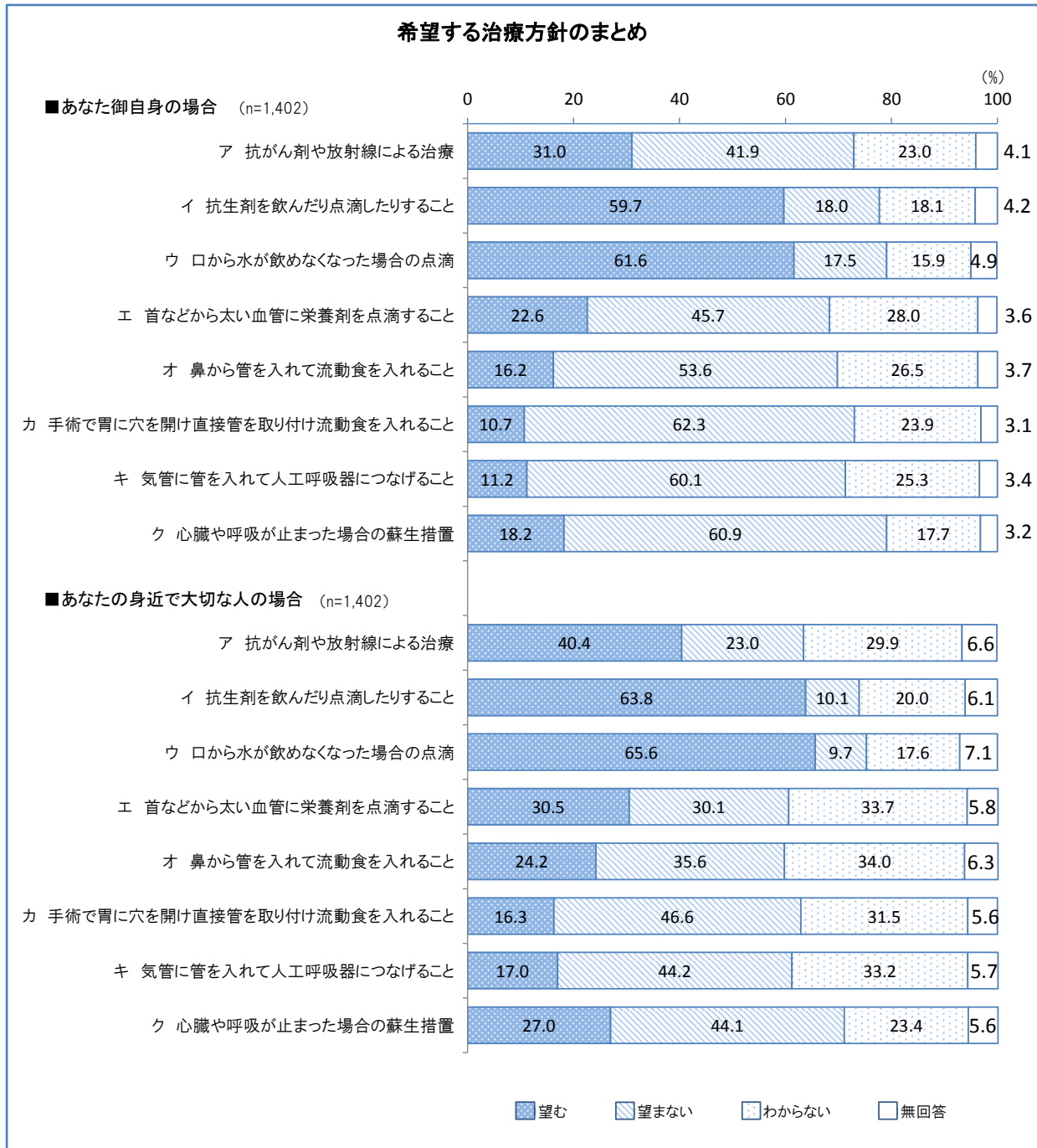
前問の「あなた御自身の場合」と比較すると、「居宅」と回答した割合が3.2ポイント、「介護施設」と回答した割合が1.0ポイント低くなり、「医療機関」と回答した割合が3.4ポイント高くなっている。



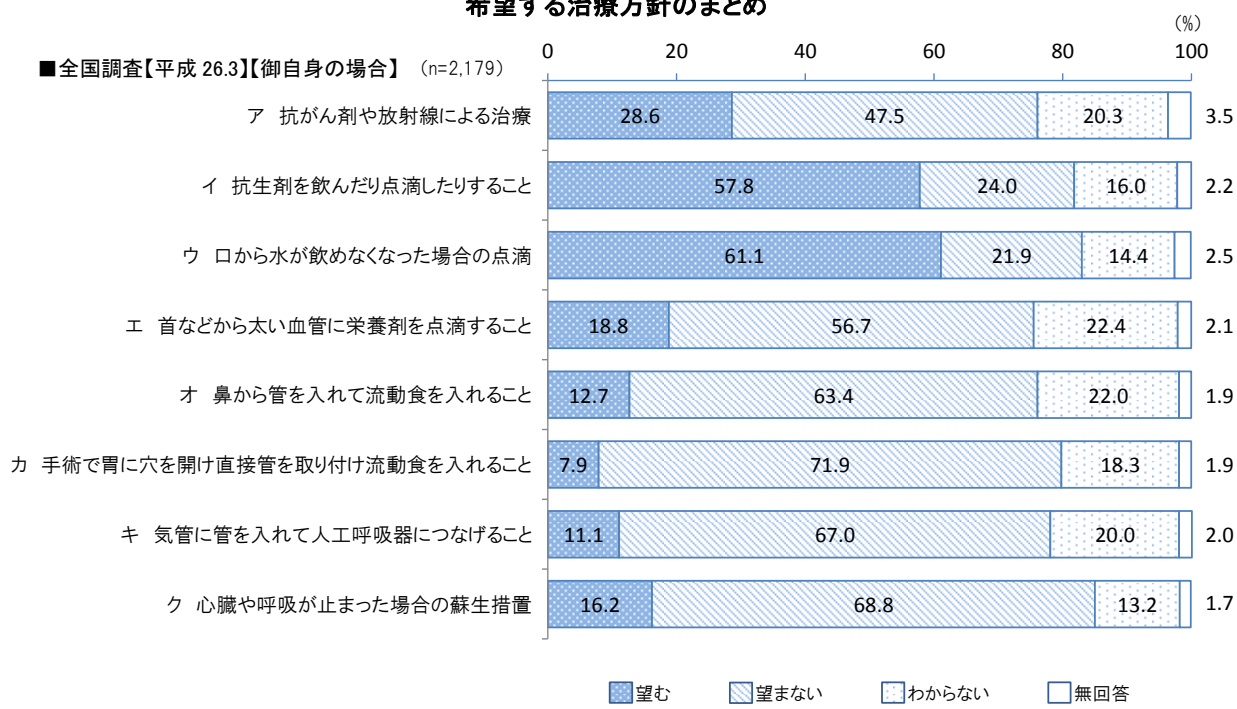
問11-2 (i)あなた御自身の場合、(ii)あなたの身近で大切な人の場合、下記のア〜クの治療を望みますか。(○は(i)(ii)について、それぞれ1つ)

②末期がんで、食事や呼吸が不自由であるが、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様の場合

- あなた御自身の場合—
- あなたの身近で大切な人の場合—
- 全国調査【平成 26.3】【御自身の場合】—



希望する治療方針のまとめ



③重度の心臓病で、身の回りの手助けが必要であるが、意識や判断力は健康な時と同様の場合

《もし、あなた御自身やあなたの身近で大切な人が以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。》

－あなた又はあなたの身近で大切な人の病状－

慢性の重い心臓病が進行して悪化し、今は食事や着替え、トイレなど身の回りのことに手助けが必要な状態です。しかし、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

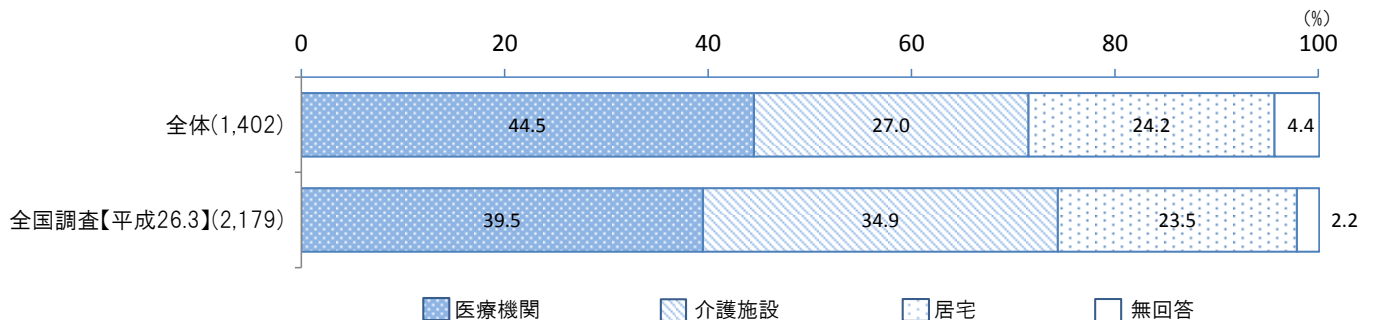
－医療上の判断－

「回復の見込みはなく、徐々に死に至る。」とのことです。

問12-1 (i)あなた御自身の場合、どこで過ごしながらか医療を受けたいですか。(○は1つ)

あなた御自身の場合、どこで過ごしながらか医療を受けたいかについて、「医療機関」と回答した割合が44.5%と最も高く、次いで「介護施設」(27.0%)、「居宅」(24.2%)となっている。

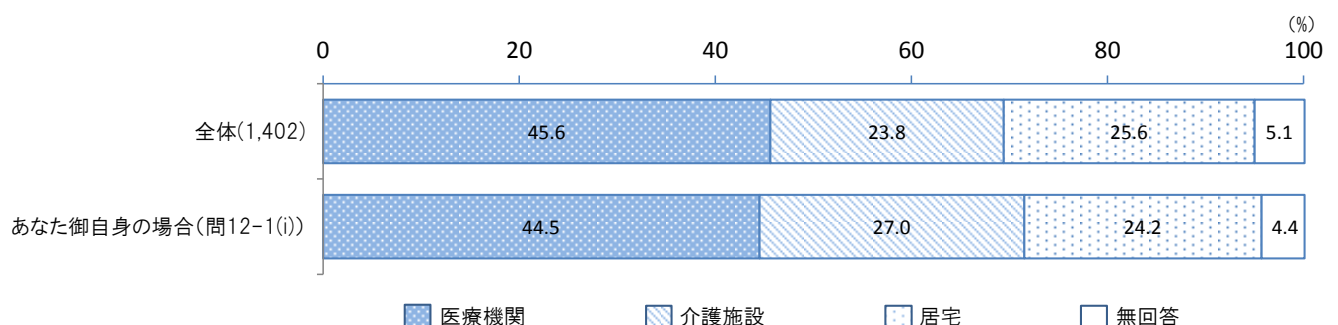
全国調査と比較すると、「医療機関」と回答した割合が5.0ポイント高くなっている。



問12-1 (ii)あなたの身近で大切な人の場合、どこで過ごしながらか医療を受けてもらいたいですか。(○は1つ)

身近で大切な人の場合、どこで過ごしながらか医療を受けてもらいたいかについて、「医療機関」と回答した割合が45.6%と最も高く、次いで「居宅」(25.6%)、「介護施設」(23.8%)となっている。

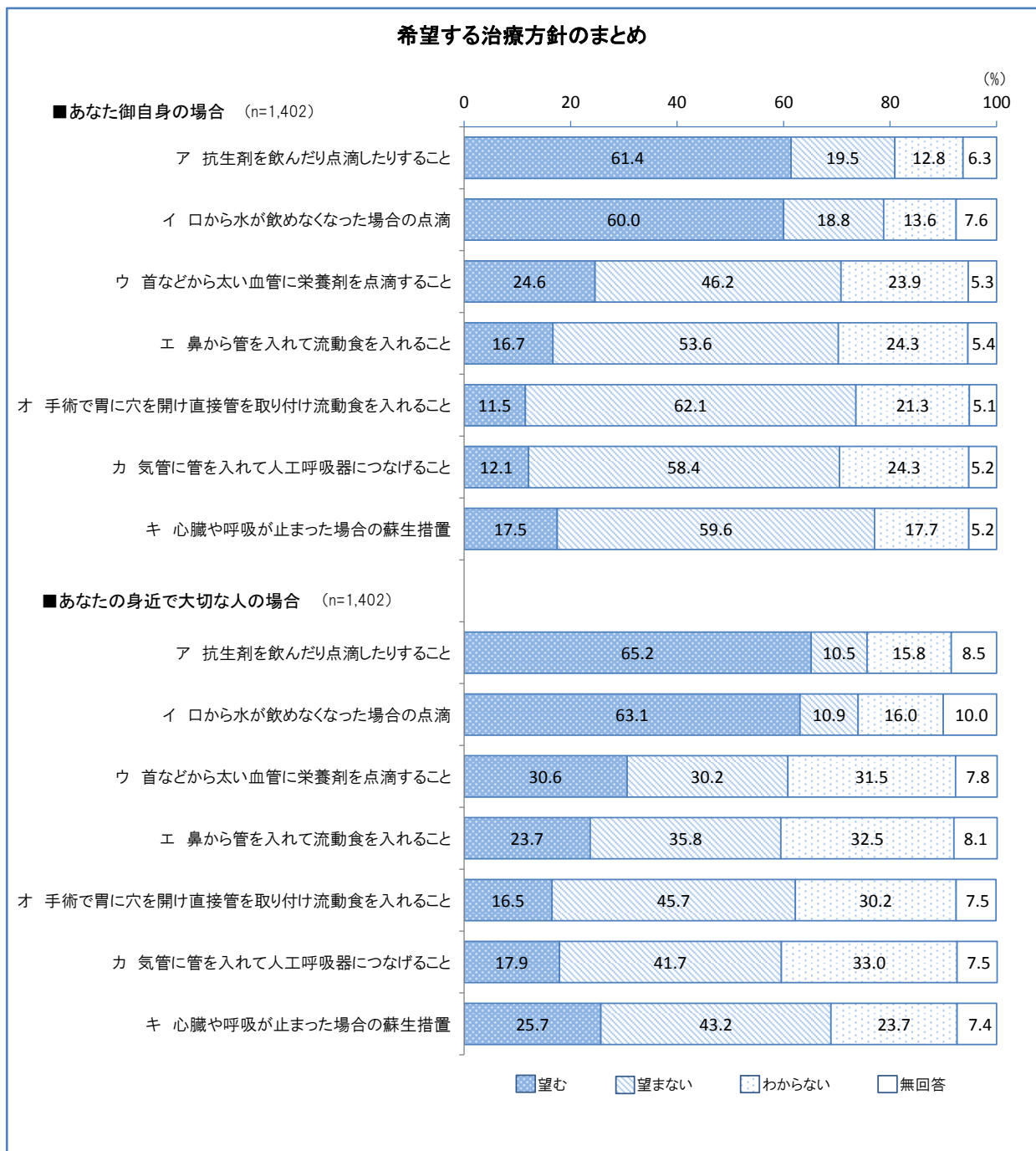
前問の「あなた御自身の場合」と比較すると、「医療機関」と回答した割合が1.1ポイント高くなっている。



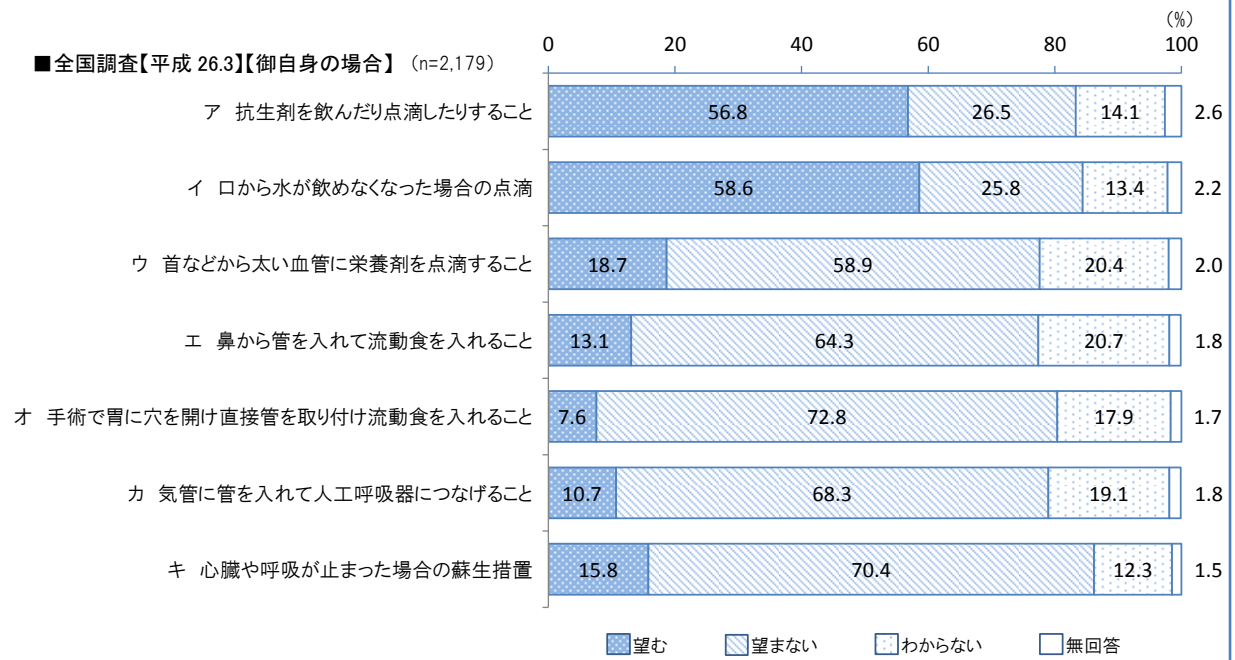
問12-2 (i)あなた御自身の場合、(ii)あなたの身近で大切な人の場合、下記のア～キの治療を望みますか。(○は(i)(ii)について、それぞれ1つ)

③重度の心臓病で、身の回りの手助けが必要であるが、意識や判断力は健康な時と同様の場合

- あなた御自身の場合—
- あなたの身近で大切な人の場合—
- 全国調査【平成 26.3】【御自身の場合】—



希望する治療方針のまとめ



④認知症が進行し、身の回りの手助けが必要で、かなり衰弱が進んできた場合

《もし、あなた御自身やあなたの身近で大切な人が以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。》

—あなた又はあなたの身近で大切な人の病状—

認知症が進行し、自分の居場所や家族の顔が分からず、食事や着替え、トイレなど身の回りのことに手助けが必要な状態で、かなり衰弱が進んできました。

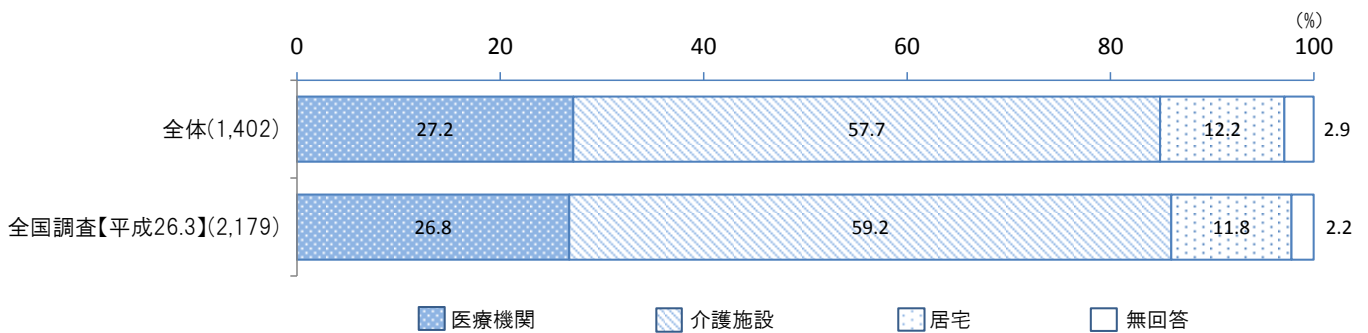
—医療上の判断—

「回復の見込みはなく、徐々にあるいは急に肺炎などで死に至る。」とのことです。

問13-1 (i)あなた御自身の場合、どこで過ごしながら医療を受けたいですか。(〇は1つ)

御自身の場合、どこで過ごしながら医療を受けたいかについて、「介護施設」と回答した割合が57.7%と最も高く、次いで「医療機関」(27.2%)、「居宅」(12.2%)となっている。

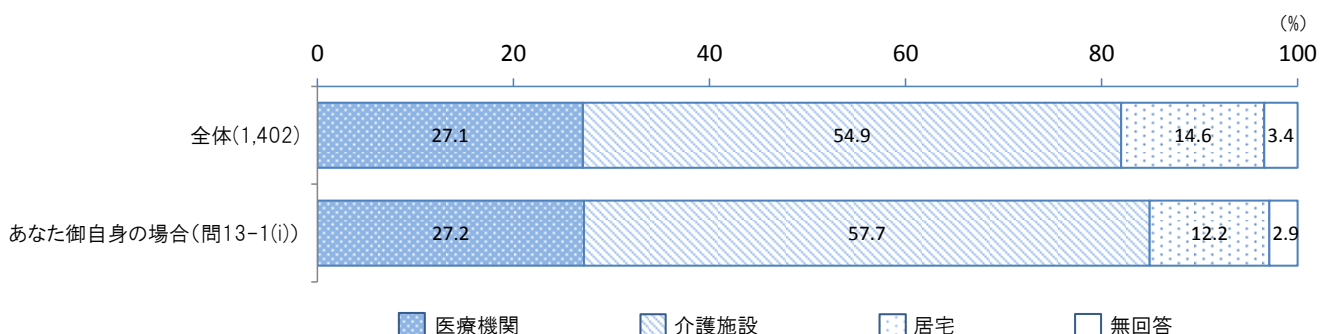
全国調査と比較すると、「介護施設」と回答した割合が1.5ポイント低くなっている。



問13-1 (ii)あなたの身近で大切な人の場合、どこで過ごしながら医療を受けてもらいたいですか。(〇は1つ)

身近で大切な人の場合、どこで過ごしながら医療を受けてもらいたいかについて、「介護施設」と回答した割合が54.9%と最も高く、次いで「医療機関」(27.1%)、「居宅」(14.6%)となっている。

前問の「あなた御自身の場合」と比較すると、「介護施設」と回答した割合が2.8ポイント低くなっている。

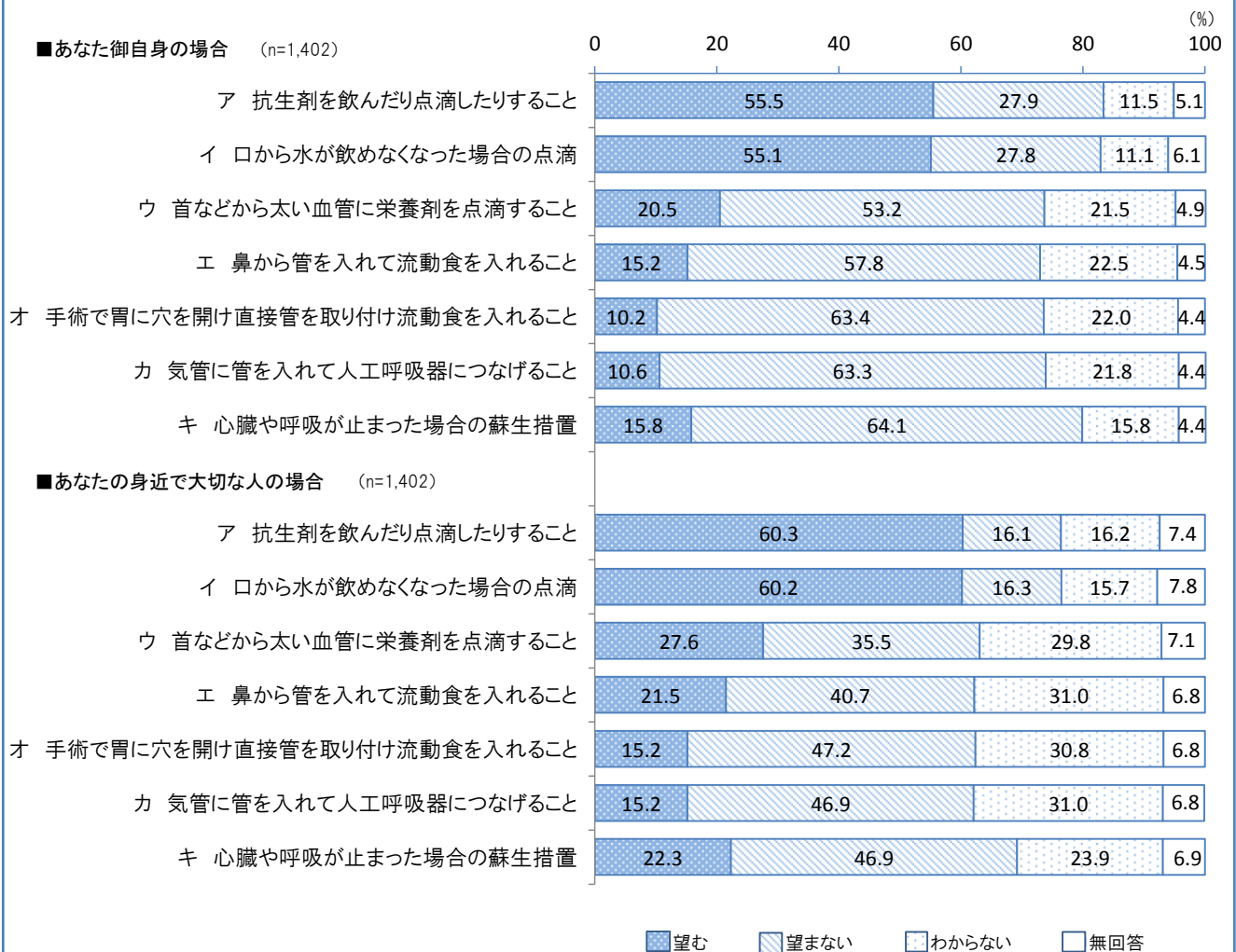


問13-2 (i)あなた御自身の場合、(ii)あなたの身近で大切な人の場合、下記のア～キの治療を望みますか。(○は(i)(ii)について、それぞれ1つ)

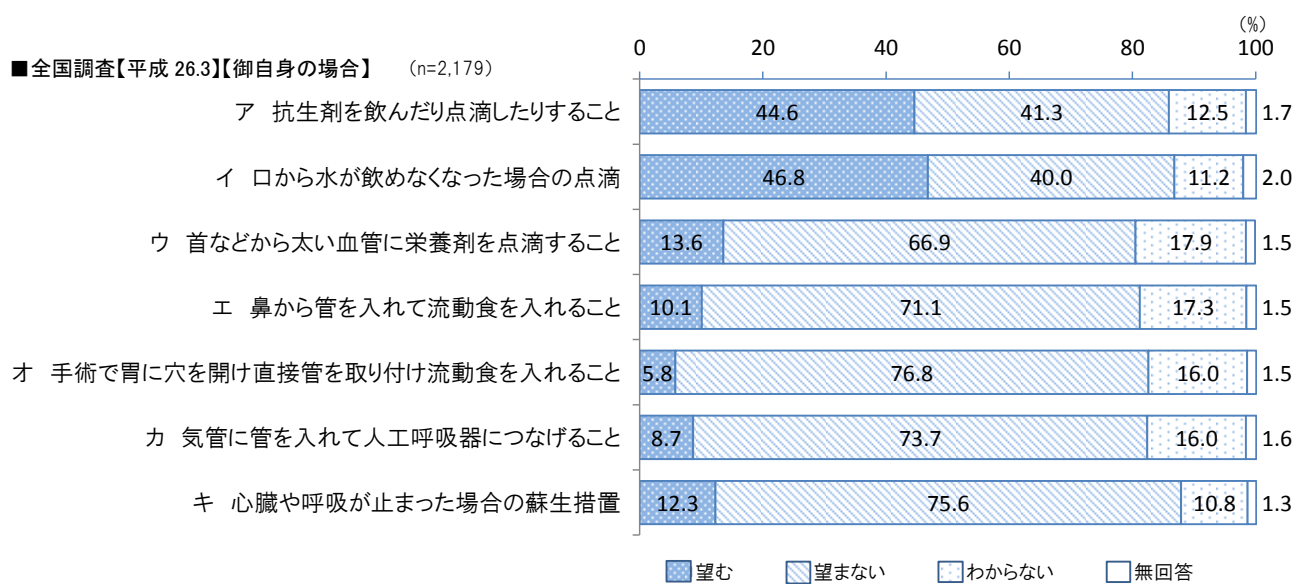
④認知症が進行し、身の回りの手助けが必要で、かなり衰弱が進んできた場合

- あなた御自身の場合—
- あなたの身近で大切な人の場合—
- 全国調査【平成 26.3】【御自身の場合】—

希望する治療方針のまとめ



希望する治療方針のまとめ



⑤交通事故により半年以上意識がなく、管から栄養をとっている状態で、衰弱が進んでいる場合

《もし、あなた御自身やあなたの身近で大切な人が以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。》

—あなた又はあなたの身近で大切な人の病状—

交通事故で強く頭を打ち、既に半年以上意識がなく、管から栄養をとっている状態ですが、衰弱が進んでいます。

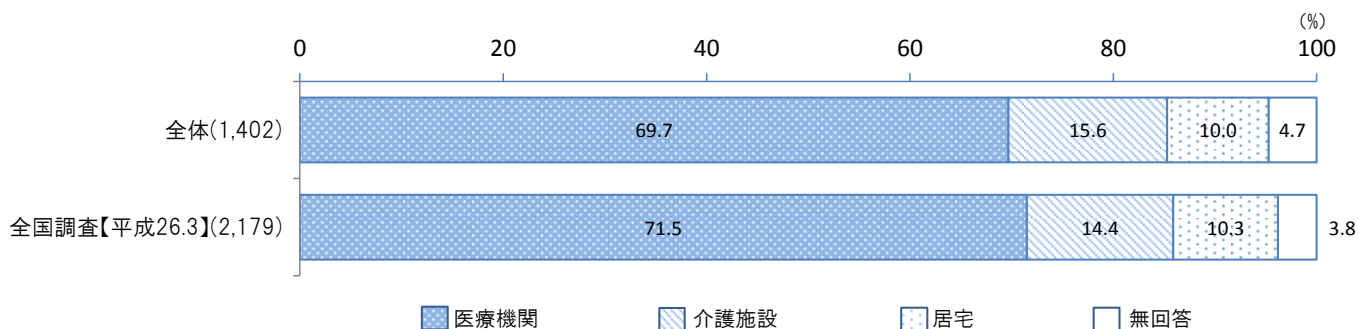
—医療上の判断—

「回復の見込みはなく、いずれ肺炎などで死に至る。」とのことです。

問14-1 (i)あなた御自身の場合、どこで過ごしながら医療を受けたいですか。(○は1つ)

御自身の場合、どこで過ごしながら医療を受けたいかについて、「医療機関」と回答した割合が69.7%と最も高く、次いで「介護施設」(15.6%)、「居宅」(10.0%)となっている。

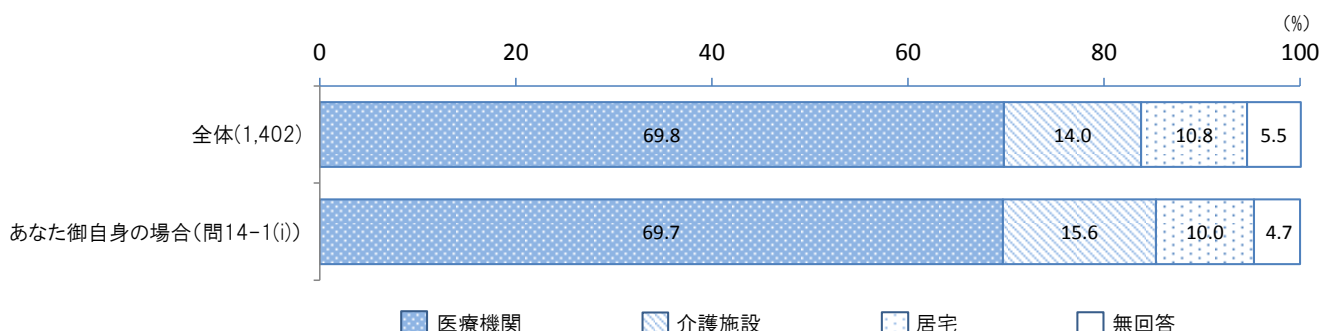
全国調査と比較すると、「医療機関」と回答した割合が1.8ポイント低くなっている。



問14-1 (ii)あなたの身近で大切な人の場合、どこで過ごしながら医療を受けてもらいたいですか。(○は1つ)

身近で大切な人の場合、どこで過ごしながら医療を受けてもらいたいかについて、「医療機関」と回答した割合が69.8%と最も高く、次いで「介護施設」(14.0%)、「居宅」(10.8%)となっている。

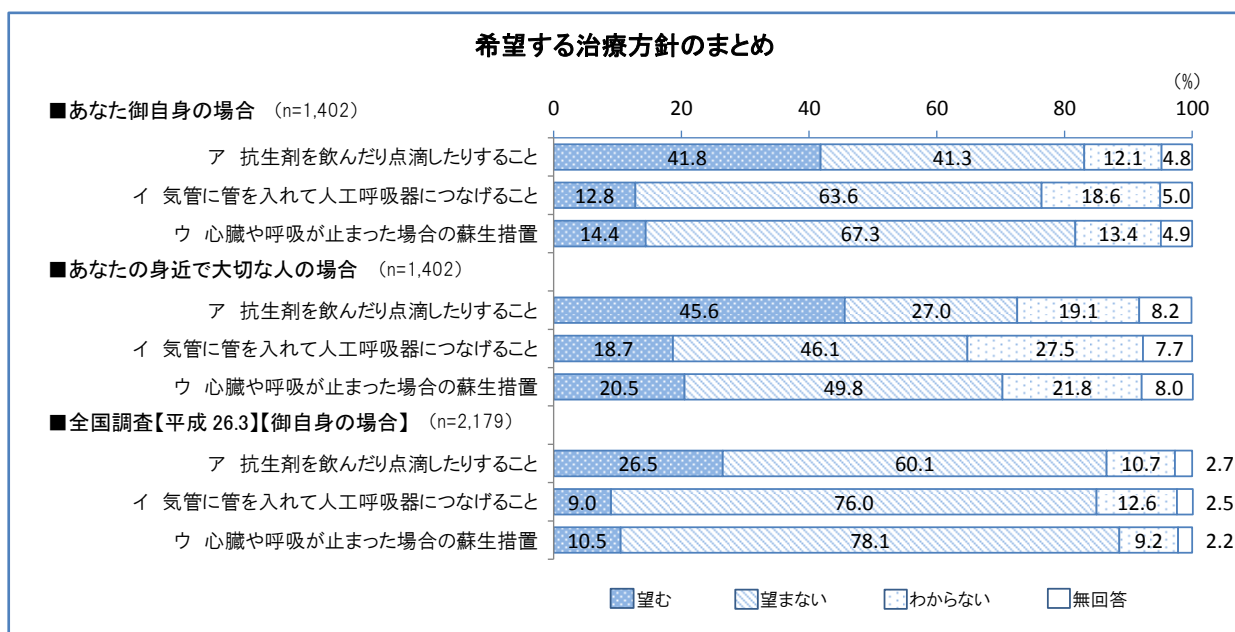
前問の「あなた御自身の場合」と比較すると、「居宅」と回答した割合が0.8ポイント高くなっている。



問14-2 (i)あなた御自身の場合、(ii)あなたの身近で大切な人の場合、下記のア～ウの治療を望みますか。(○は(i)(ii)について、それぞれ1つ)

⑤交通事故により半年以上意識がなく、管から栄養をとっている状態で、衰弱が進んでいる場合

- あなた御自身の場合—
- あなたの身近で大切な人の場合—
- 全国調査【平成 26.3】【御自身の場合】—



⑥交通事故により心肺停止となったのち蘇生したものの、2週間が経過した時点で意識はなく、人工呼吸器と点滴を受けている場合

《もし、あなた御自身やあなたの身近で大切な人が以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。》

—あなた又はあなたの身近で大切な人の病状—

交通事故で全身を強く打ち、一時呼吸も心臓の動きも止まった状態になりましたが、処置により心臓の動きは戻りました。集中治療室に入って2週間が経過した現在、意識はなく、気管から管を入れて付けている人工呼吸器がなければ呼吸ができません。栄養や薬などを入れるため、太い血管に点滴の管が入っています。

—医療上の判断—

「あらゆる治療を行っているが、効果がなく、このまま徐々に死に至る。」とのことです。

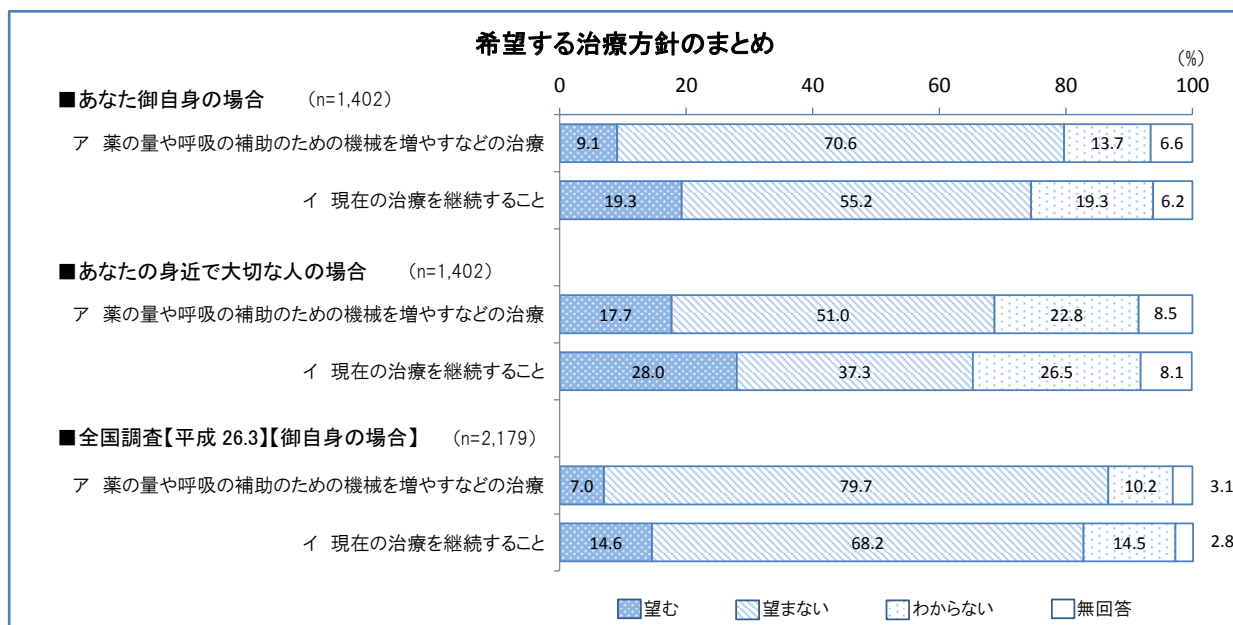
問15-1 (i)あなた御自身の場合、(ii)あなたの身近で大切な人の場合、下記のア～イの治療を望みますか。(○は(i)(ii)について、それぞれ1つ)

⑥交通事故により心肺停止となったのち蘇生したものの、2週間が経過した時点で意識はなく、人工呼吸器と点滴を受けている場合

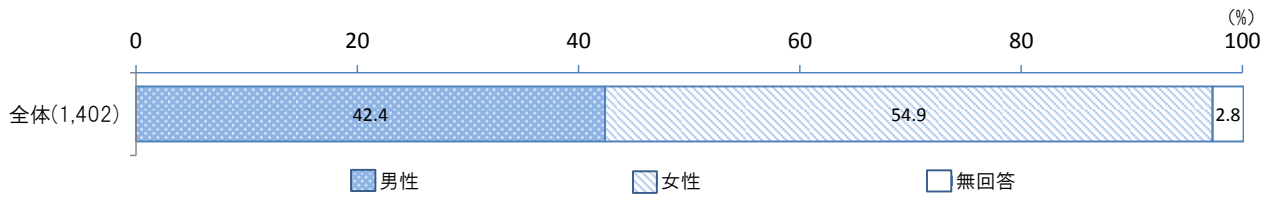
—あなた御自身の場合—

—あなたの身近で大切な人の場合—

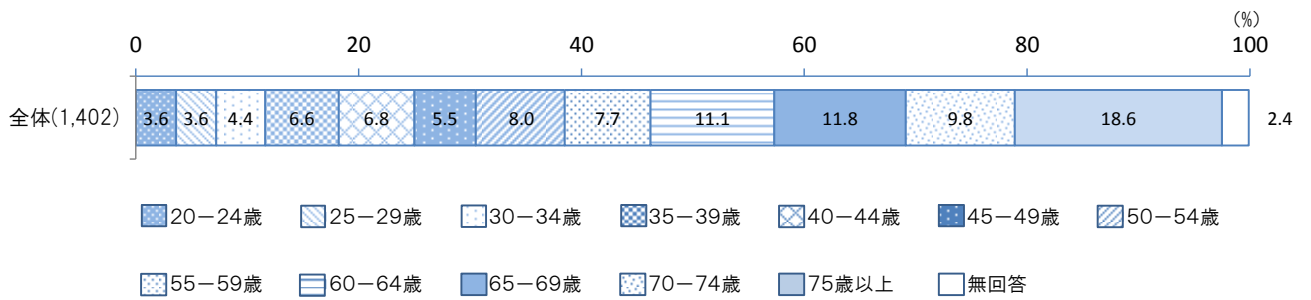
—全国調査【平成 26.3】【御自身の場合】—



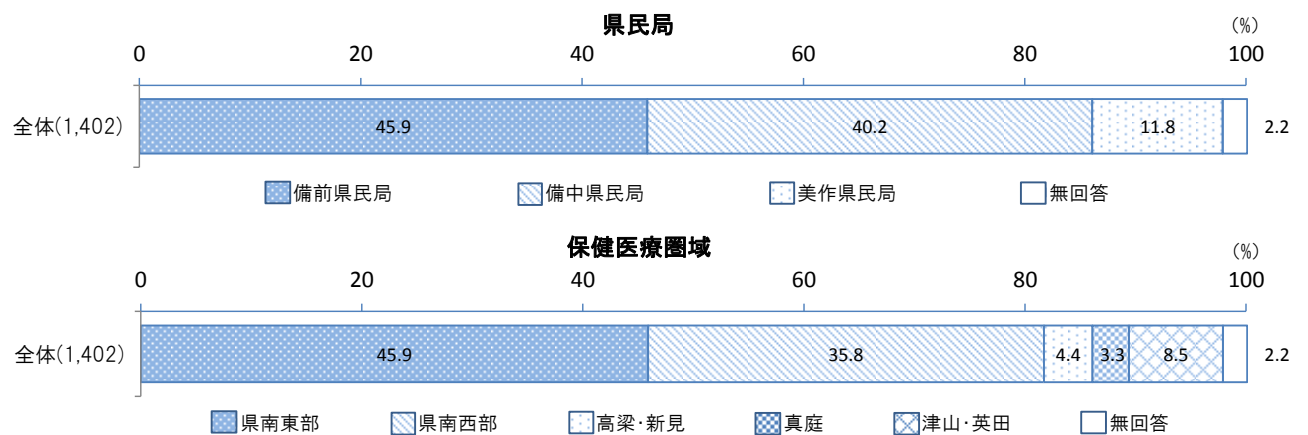
F1 性別



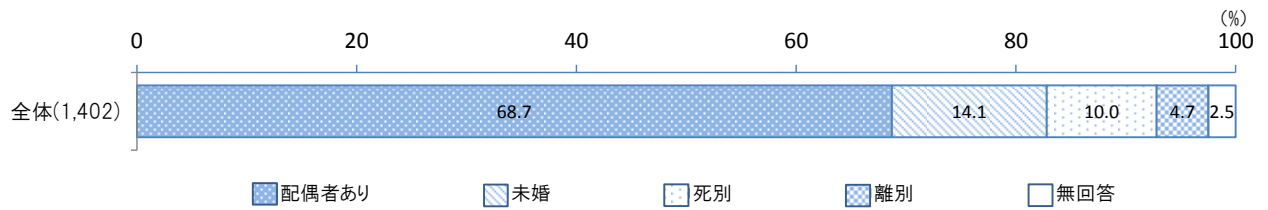
F2 満年齢



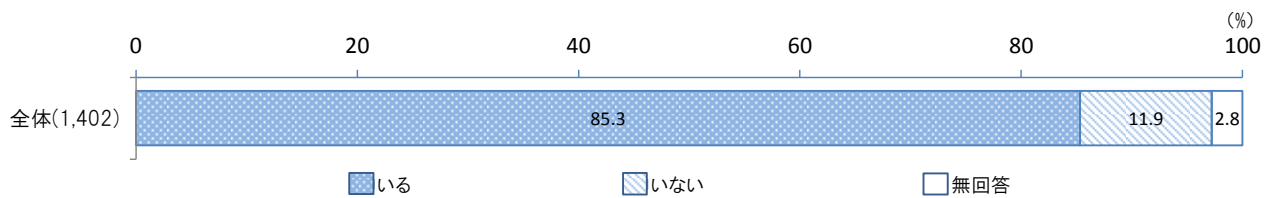
F3 お住まいの市町村



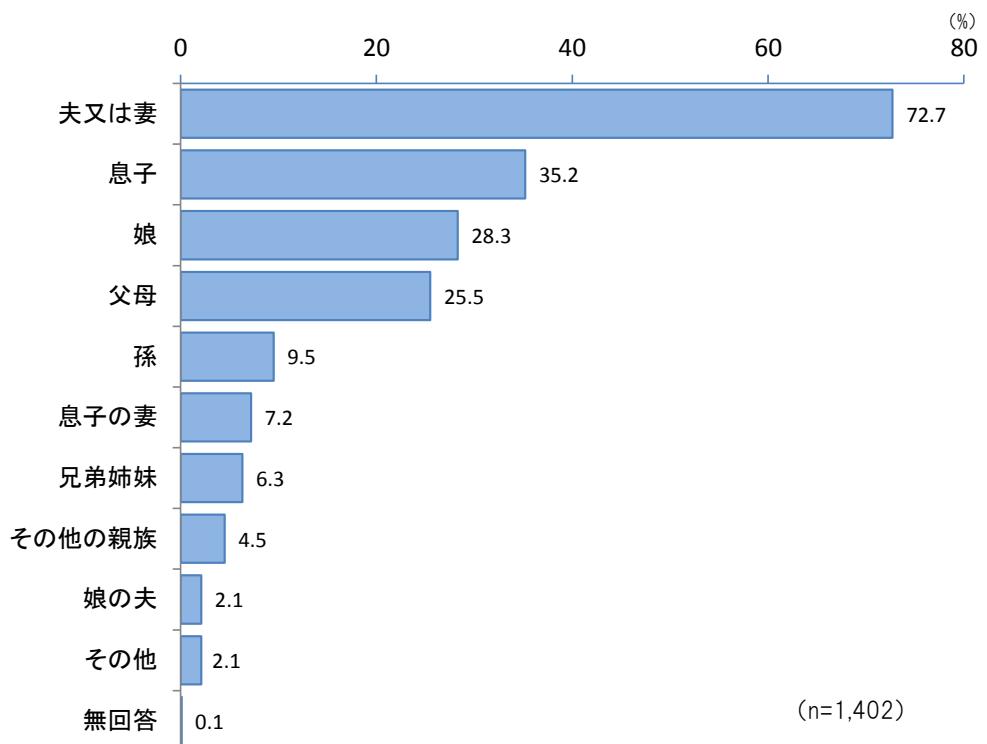
F4 婚姻状況(○は1つ)



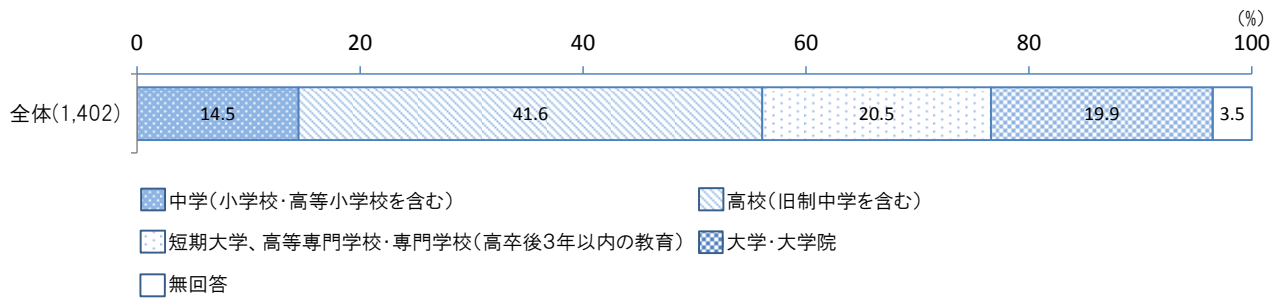
F5 同居している方はいらっしゃいますか。(○は1つ)



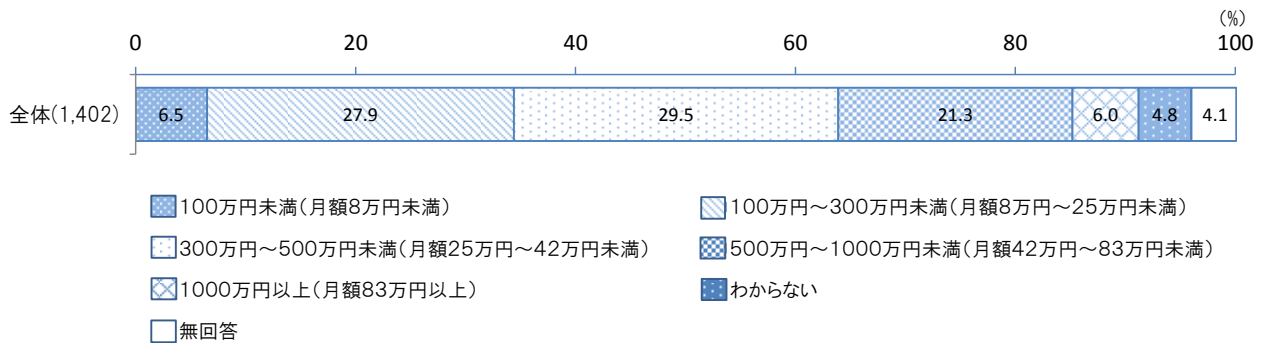
F6 同居しているのはどなたですか。あてはまる回答全てに○をつけてください。



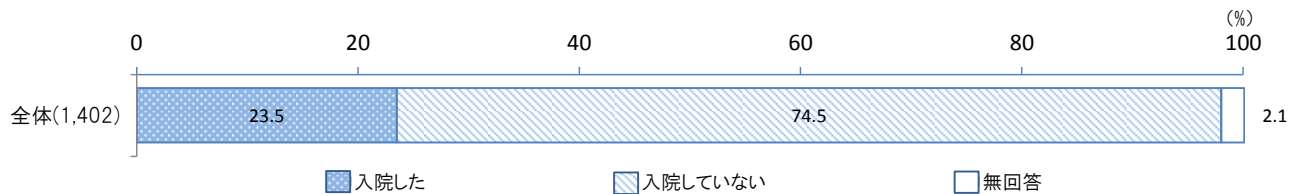
F7 あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。中退、在学中も卒業とお考えください。(〇は1つ)



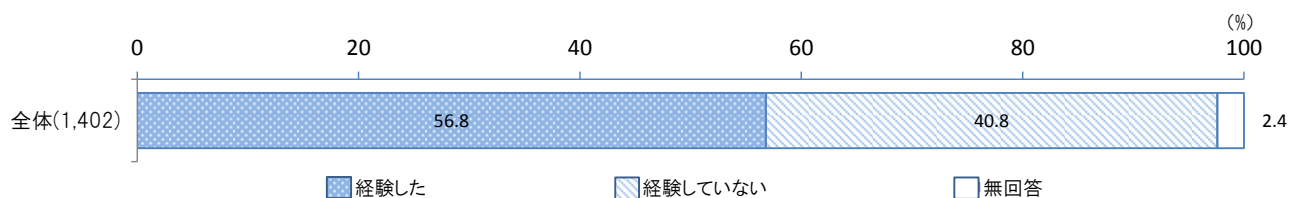
F8 あなたの世帯全体の年間収入(税込み)はおよそどのくらいですか。次の中から当てはまるものに〇をつけてください。(〇は1つ)



F9 あなたは最近5年間に病気やけがで入院しましたか。(〇は1つ)



F10 あなたは、身近で大切な人の病気やけがによる入院を最近5年間に経験しましたか。(〇は1つ)



F11 あなたは、健康状態や病気のこと、気軽に相談でき、決めて診察を受けるかかりつけ医がいますか。(〇は1つ)

